

件名	定期検査中の5号機における主蒸気逃がし安全弁の表示ランプの電気回路の点検について
通報日	平成17年10月7日
概要	<p>定期検査中の5号機は、10月3日に原子炉を起動し、6日よりタービン・発電機の確認運転*を行っておりましたが、同日午後4時26分頃、主蒸気逃がし安全弁の表示ランプの電気回路に漏電箇所があることを確認いたしました。</p> <p>本日、タービン・発電機の確認運転が終了したため、予定どおり午前6時に発電を一旦停止しております。当該回路の漏電箇所が原子炉格納容器内にあると推定していることから、午前7時30分より原子炉停止操作を開始し、点検作業を行うことといたしました。</p> <p>漏電箇所は表示ランプの電気回路であるため、主蒸気逃がし安全弁の機能に影響はありません。</p> <p>なお、当該回路の点検・改修を行った後、準備が整い次第起動操作を再開する予定です。</p> <p>*：タービン・発電機の確認運転</p> <p>定期検査中に原子炉を起動した後、タービン・発電機にかかわる各種試験を行うために一時的に発電を行うこと。</p> <p>(平成17年10月7日 プレス発表内容)</p> <p>http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/17100701.pdf</p>